

第30回まちcomiリサーチ 『お子さまの防犯について』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『お子さまの防犯について』のアンケートを実施いたしました。

<調査概要>

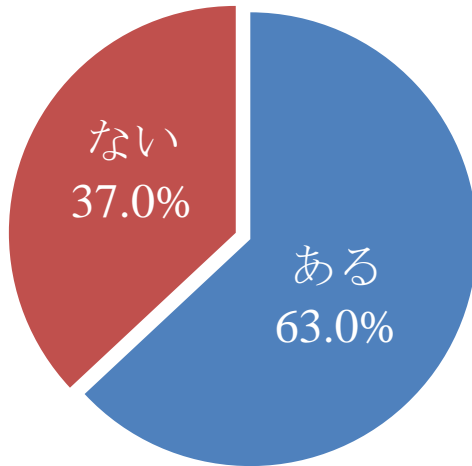
調査期間	2011年4月21日(木)～2011年4月24日(日)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	319,847名(2011年4月21日現在)
有効回答数	24,727件(7.7%)
寄付金額	今回24,727円 寄付先：公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン

<質問項目>

1	お子さまの居場所がわからなくなり、心配したことはありますか？
2	お子さまの居場所を常に把握したいと思いませんか？
3	お子さまに持たせている安心・防犯グッズ(サービス)はなんですか？(いくつでも)
4	GPS端末でお子さまの位置検索ができれば便利だと思いますか？
5	お子さまと常に電話やメールなどで連絡がとれたらいいと思いませんか？
6	お子さまの防犯について、普段感じていることはなんですか？(自由回答)
7	あなたの年齢を教えてください。
8	あなたの性別をお答えください。
9	あなたの職業を教えてください。
10	お子さまの学年を教えてください。(いくつでも)

質問1: お子さまの居場所がわからなくなり、心配したことはありますか?

— 約6割の方が「ある」と回答。



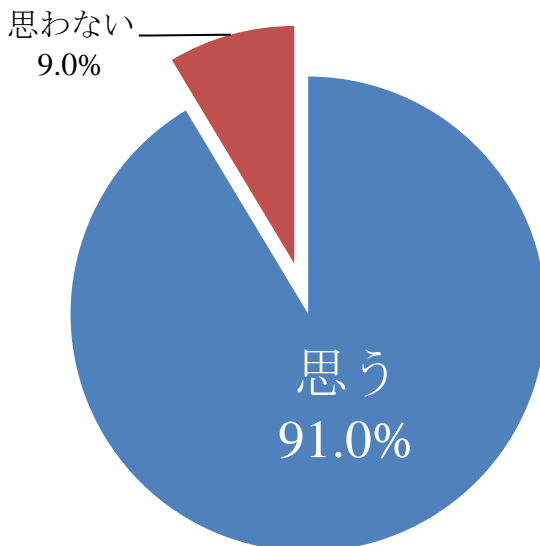
約2/3の方が、お子さまの居場所を把握できずに心配された経験があるという結果になりました。

特に「学校の登下校」や「塾の帰り道」、「公園で遊んだ帰り道」など、お子さまの行動範囲が広がるにつれ、「不審者」「事件」「交通事故」など心配される要因は増える傾向にあります。

また、地域の中での交流が希薄になり、安心できる要因が減っていることも一因のようです。

質問2: お子さまの居場所を常に把握したいと思いませんか?

— 90%以上の方は、「お子様の居場所」を常に把握したいと回答。

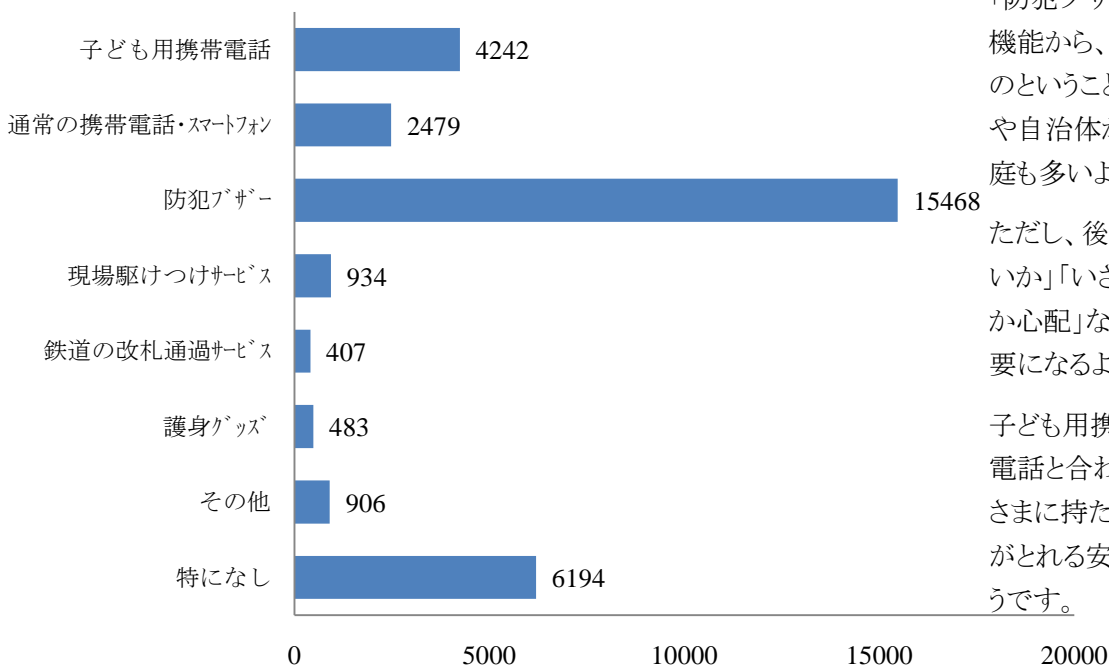


お子さまから事前に居場所を伝えられていても、好奇心旺盛な子どもたちは予定外に移動することも多く、ハラハラする保護者の方も多いようです。

また、先の震災により、有事に居場所を把握することの重要性を痛感される方も増えているようです。

質問3:お子さまに持たせている安心・防犯グッズ(サービス)はなんですか?(いくつでも)

— 所有率約63%。防犯グッズとして最も取り入れられているのは「防犯ブザー」



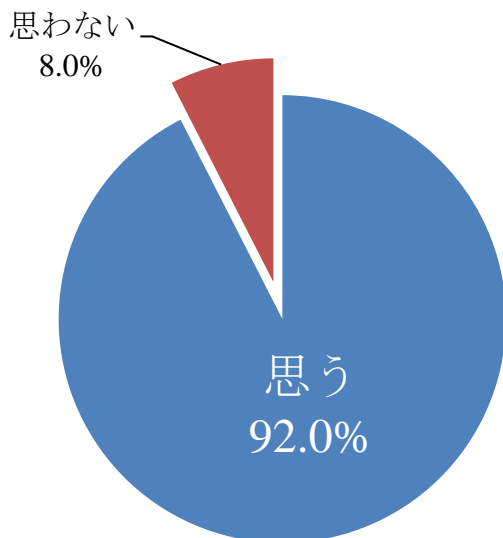
「防犯ブザー」は、値段や絞られた機能から、身近で取り入れやすいものということで支持されており、学校や自治体から配布されているご家庭も多いようです。

ただし、後の自由回答では「壊れないか」「いざという時に使いこなせるか心配」など、日頃の対応訓練も重要になるようです。

子ども用携帯電話も、通常の携帯電話と合わせて3割近くの方がお子さまに持たせており、いつでも連絡がとれる安心感が支持されているようです。

質問4:GPS端末でお子さまの位置検索ができれば便利だと思いますか?

— 90%以上の方がGPS機能に賛同。

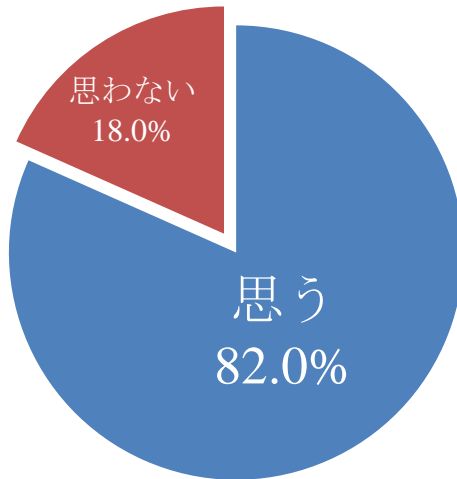


約92%の方が、GPS機能に賛同しており、この結果は問2のお子様の居場所を常に把握したいという結果ともリンクしており、GPS機能の認知度の高さがうかがえます。

離れていても、リアルタイムにお子様の居場所が分かる安心感がある一方、子どもの自立性・プライバシーを考慮しつつも、平時から危険な目に合わない為にはどうすればいいのか自ら考えさせる事も重要と感じている保護者様も多いようです。

質問5: お子さまと常に電話やメールなどで連絡がとれたらいいと思いますか？

— 80%以上の方が、直接連絡がとれる手段を支持



約8割以上の方が、お子さまと直接連絡が取れる電話やメール機能を支持する結果になりました。

携帯電話を持たせる時期を悩まれる方が多いですが、犯罪やトラブルに巻き込まれないように、連絡がとれる人が制限される機能があると保護者様は安心して使えるようです。

通話はいざという時に子どもが出ないということで倦厭する方も多いようですが、子どもからは「いつもつながるから安心」という声もあるようです。

質問6:お子さまの防犯について、普段感じていることはなんですか?(自由回答)

多くのご意見をお寄せ戴きました。 ※以下、一部抜粋したものをご紹介します。 ※回答数:10,011件

<総評>

一番の防犯は、日頃からの家族内でのコミュニケーションや、ご近所・学校・行政等地域ぐるみで総合的に子どもを見守る取り組みといった、人間や愛情が作り上げるものという意見が多い半面、近隣の方との連携、子どもたちへの防犯教育、自覚・自立の植え付けに悩まれている保護者の方が多いようです。また、子どもたちが自由に遊べる環境が失われてしまったことに対して、子どもたちが不憫という意見もありました。

防犯グッズはあくまでも「防犯」を補完するものであるという冷静な意見もあるものの、便利さ・安心さに関しては、いくつもの策を打っておきたいという親心が垣間見える結果となりました。ただ、防犯グッズは、活発に活動するお子さまにとっては、いざという時に身につけていないことが多く、有効に活用できるかどうか不安という声もあり、常に身につけられる更なる工夫が求められているようです。

子ども用ケータイを含む携帯電話に関しては、その利便性を認めつつも、インターネットに関する新たな「犯罪」「トラブル」に巻き込まれる懸念から、持たせる時期について悩まれる方が多いようです。

ただ、GPS機能に関しては好評で、防犯グッズメーカーに対しては、携帯性が高く、目立たず、機能を絞った安全性と耐久性があるサービスを安価に提供するといった、実用的なサービスが求められているようです。

学校に関しての要望では、特に無防備になる下校時間に連絡が取れないことに対する不満が多く、携帯電話の持ち込みを許可する要請が多く集まりました。禁止するより、正しい使い方の指導を望む声もいただきました。

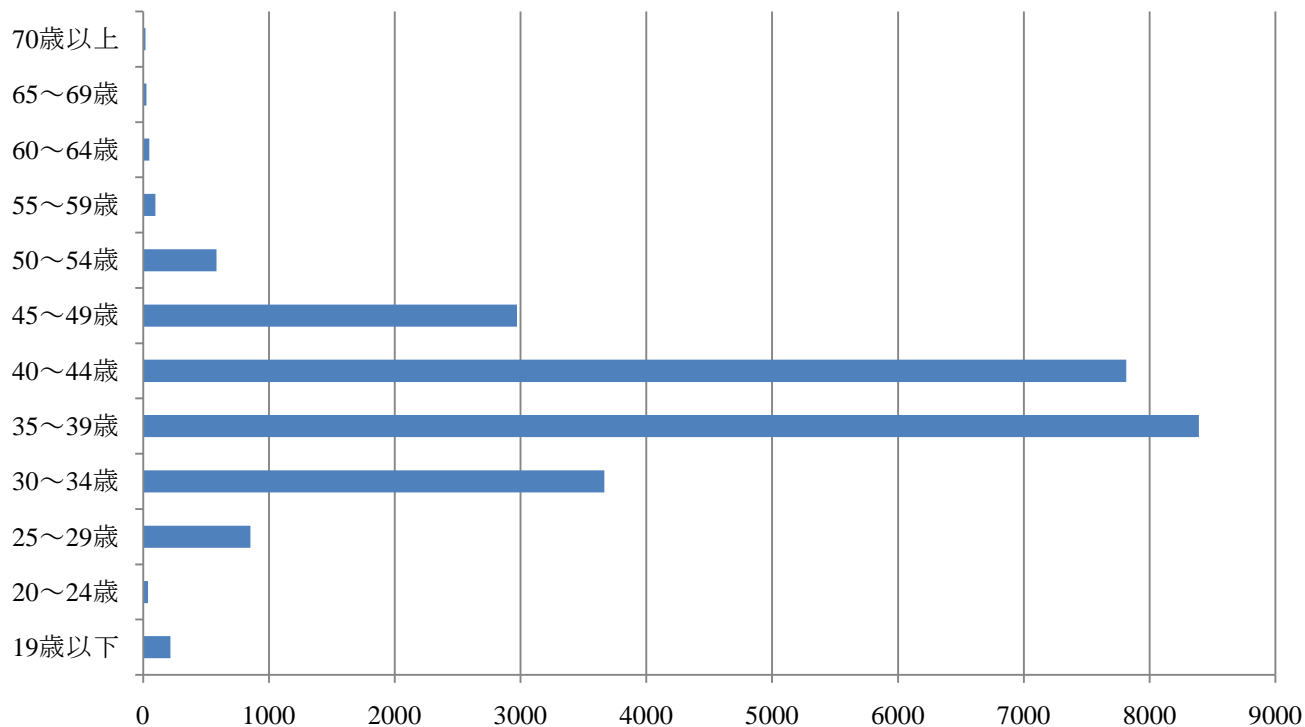
また、子ども自身に防犯の意識と知識を持たせること。合わせて、防犯グッズの使い方を教え、有事の実践教育をしないと、せっかくの防犯グッズも威力を発揮できず意味がなくなる、というご意見もございました。

<いただいた回答>

- 子供にもプライバシーがあるため、必要な時だけ位置情報や連絡がとれたら良いと思う。
- 危険な空気を感じ取り避ける、感覚的な能力や判断力が一番大事。
- 親子の愛情の確認、これをしたら心配かけたり迷惑かける人がいるということを理解できるように普段から話し合いをする。
- 近所をたくさん歩き、危険区域などを子供と確認しあう。
- 日頃から子供達や地域の方、保護者同士コミュニケーションを取って、子供達の様子を把握している事は大切だと思う。
- 電車とバスで通学しているので、できる限り一人で帰らないこと、通学途中はトイレに行かない、駅や道路では車(電車)の通る場所から離れるなど、約束を作っている
- 子供に連絡先を限定している携帯電話を持たせてますが、学校に持って行けるようにして欲しい。学校まで約3キロの距離があり、帰宅するまで毎日不安です。
- 1年の頃から子供用に携帯を持たせてます。防犯ベルを引くと居場所も解るし常に居場所が解る様にしています。まだ早いと回りには思われがちですが…！便利ですよ。
- 子供は大人程、危険意識がない。携帯を持たせたいが、費用も掛かる、子供を犯罪から守る為に、行政でもっと対応して欲しい。
- 防犯ベルなどもとっさの時には使えなそう。交通安全教室のように子供たちに体験してもらおう場があるといい。

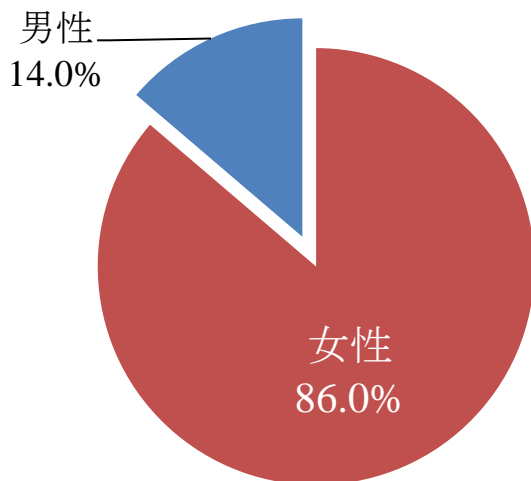
質問7:あなたの年齢を教えてください。

30代・40代の方が92.4%と、子育て真っ最中の方にご回答いただきました。



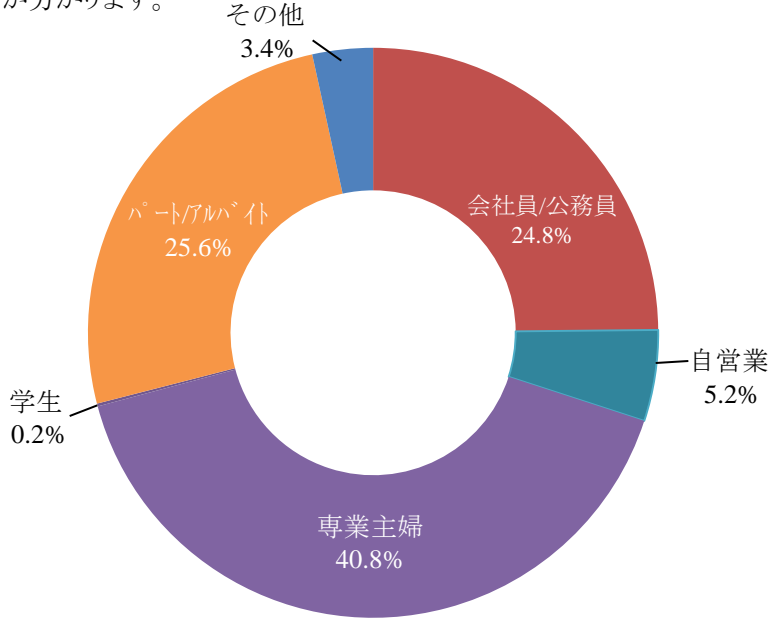
質問8:あなたの性別をお答えください。

女性の保護者様が約85%以上と圧倒的に多く、ご登録状況の男女比に応じた結果となりました。

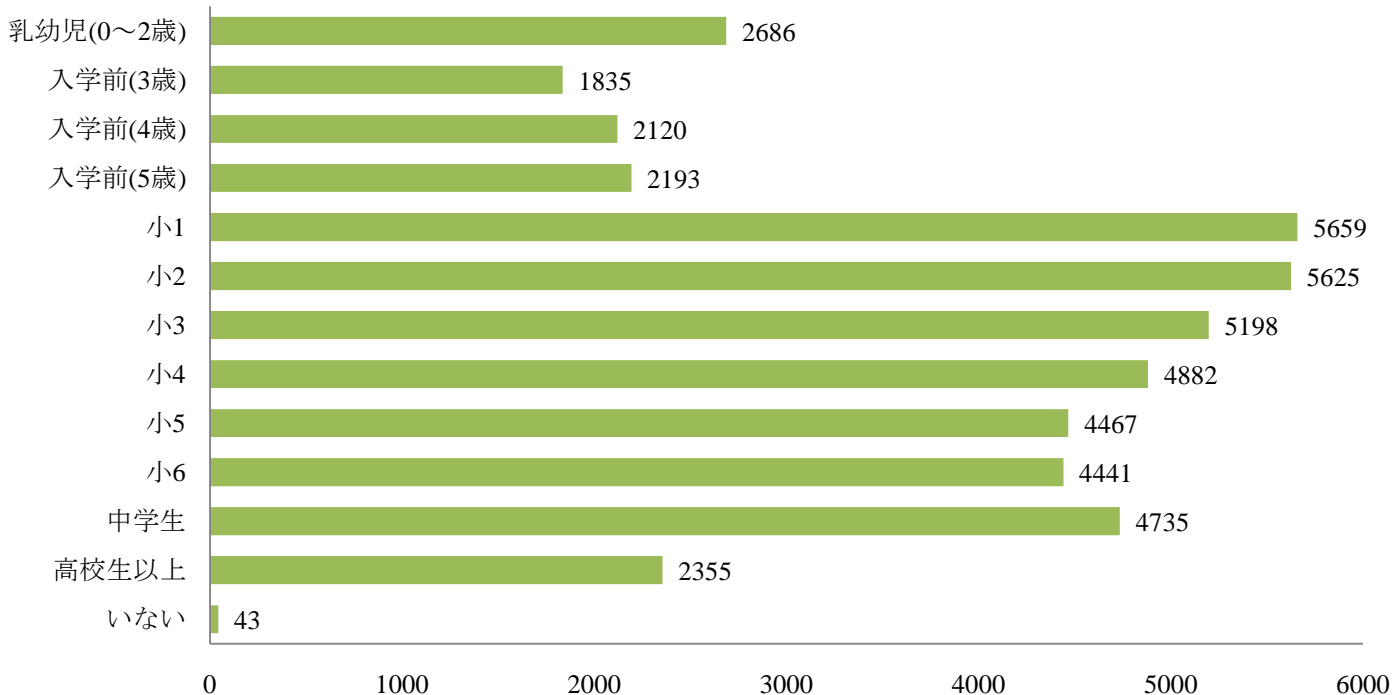


質問9:あなたの職業を教えてください。

会社員やパートなど、働きに出ている方が過半数を占め、近くにいなくとも子どもの安全を守るためのグッズや対策が必要とされていることが分かります。



質問10:お子さまの学年を教えてください。(いくつでも)



～まちcomiリサーチ:寄付金報告～

まちcomiリサーチでは【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

第30回リサーチはご回答いただいた人数×1円をまちcomiから「[NGO セーブ・ザ・チルドレン](#)」へ寄付します。

「東北地方太平洋沖地震」で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

今回は、被災した子どもたちやその家族、そして地域の被災者に対して、緊急支援を実施することを決定し、世界中のセーブ・ザ・チルドレンと協力して活動を展開しているセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ微力ながら、ご支援させていただきます。

- 今回の寄付額: 24,727円
- 今回までの合計額: 430,758円
- 今回の寄付先: [公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン](#)

◆ 今までに寄付をさせていただいた施設

- ・NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン
- ・NPO法人 チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO) 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン